

施策情報のグループ共有化

①情報連携の取組み(EDI化の推進、UI/UXの取組み、IT推進の取組み)について

	四国西濃	こぼうん	熊本西濃	ロジックス	セイノー通関
現状 (状況及び、課題)	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年4月 EDI化実績:94.1% AI-OCR占有率:8.8% AI-OCR撮影成功率:77.7% <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期4月からほぼ横ばい ・一部大口荷主のEDI化が進んでいない 	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年 EDI化率84.8% <p>【課題】2024年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存大手4社 優先改善 4月実績 非EDI枚数1,244枚の改善 ・EDI/KM2率の底上げ(4月 KM2率66.1%) 	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進出来ていない荷主には独自の送り状印刷システムがありKM2への変更が難しい ・KM2率目標80%に対して72%(4月) 	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混載輸出普通ブックングを受けたのち、物量訂正をお客様からご連絡をいただいた際当社担当者が当社システム内で修正をする ・カスタマーサービスの工数として、4時間程度/週かけていた 	<p>【EDI化の推進】【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹システムとNASSC(輸出入・港湾関連情報システム)の二重入力が発生している <p>【IT推進の取組み】【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通関書類作成の単純入力作業に時間を費やしている
新たな取組み (課題解決策)	<ul style="list-style-type: none"> ・大口荷主へ輸送情報交換導入提案(SISと連携) ・KM2導入へ向け本社電算課との帯同営業、データ取込のサポート ・運賃試算、出荷データ出力機能、電子サイン取得機能等のAPIによるKM2導入の提案 ・AI-OCR撮影率の向上に向け、撮影実績の情報共有 ・AI-OCR撮影成功率の向上に向け、撮影失敗月間枚数50枚以上SD(協力会社含む)へ個別指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・非EDI荷主顧客へKM2の促進 ・営業企画課からの実績を基にTG設定 非EDI荷主をプランナー3名が中心に訪問 渉外の強化 ・事務所インサイトセールス 少額の非EDI荷主様へテレマ渉外 プランナーと情報共有し展開 ・導入荷主の稼働状況を検証 再度、EDI化の利便性をご説明する 	<ul style="list-style-type: none"> ①新規荷主にはKM2の導入を条件にて申し入れを行う ②荷主への請求書の中へWeb請求書のチラシを入れて渉外を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・混載輸出普通ブックングについて物量訂正が生じた場合はお客様ご自身にて訂正できるようにシステム改修を行った。請求を立てることができない業務を圧縮する 	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹システムの変更 <p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RPAの導入による自動入力への切り替え
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> ・AI-OCR撮影率 5月途中経過で4月対比3.4%上昇 ・AI-OCR撮影成功率 5月途中経過で4月対比1.6%上昇 	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年 4月EDI化率 86.1% 2024年 4月EDI化率 86.6% 前年同月比 +0.5% ・SD集荷入力時間の削減により、帰店時間の短縮に繋がる 	<ul style="list-style-type: none"> ①新規3社に対しては3件とも導入済み(4月度) ②新規1社に対してWeb請求書・口座振替にて獲得(4月度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・カスタマーサービスの工数1時間程度/週となり3時間の業務時間短縮 	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年8月から基幹システムへの切り替え作業をスタート <p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年6月からRPAのトライアルをスタート 第一フェーズにて全作業工程の30%削減
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・EDI化率98%以上の達成 ・AI-OCR撮影成功率の向上 ・荷主、当社双方の業務効率化 ・新規荷主は輸送情報交換 or KM2での取引開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・EDI化によるメリットをお客様にご理解いただける渉外 ・お客様に関してもペーパーレス化、グリーン環境に繋がる 	<ul style="list-style-type: none"> ①営業職・SDの渉外ではまだまだお客様への認知度が低い、チラシなどの媒体を使用して認知度を向上させる必要あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に修正していただくことで、カスタマーサービスの工数が減少。加えて荷主側へも書類作成時の注意喚起となる 	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二重入力を無くすことでミスの削減結果、信頼性の高いサービスをお客様にご提供 <p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の作業負担軽減と正確な作業の実現